

今後、さらに厳しくなる国内経済環境と国際市場競争の中で、企業の生き残りには、人財の確保・維持が最も重要な戦略である。特に、子育てや介護と両立する働き方を支援できるかどうか、競争力・生き残り率を分ける。そこで、日常の仕事や現場で、何が大切なのか、どのような取り組みや活動を行えば良いのか、売り上げや利益を増やすために必要な人材確保は?など、今直ぐに会社と地域で取り組まなければならないこと、また、会社と地域の生き残りを本気で実践して行くために必要な行政、商工会議所、NPOの役割など、分野や業種を超えて一緒に考える。

2010年11月1日に、社会的責任(SR:Social Responsibility)に関する国際規格「ISO26000」が発行された。この取り組みは大掛かりな投資や体制整備が必要ではなく、むしろ、柔軟性や革新性、地域コミュニティとの密接なつながりなど、中小企業の強みを活かした活動や実践に取り組むことで、会社と地域を守り、各会社と地域の未来を輝かしいものにする事が出来る絶好の機会と捉え、総力をあげて取り組むことが重要である。将来に渡りこの地域が生き活きと輝き、発展して行くために、「会社と地域の戦略セミナー」を開催する。

会社と地域を守る!

従業員の
子育て支援が、



会社と地域にとって
重要な戦略や実践に
取り組んでいますか?

講義
&
ワーク

「会社と地域の生き残りを
総力で取り組む!」

ISO26000時代に求められる戦略や行動とは?

講師 川北 秀人 氏

(IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]代表)



経営者・管理者の取り組みで
会社が変わる従業員が変わる!
一緒に取り組むヒントを!

- ・売り上げや利益を増やせるか心配!
- ・ちゃんとした人材を雇い続けられるか心配!

改革・改善の
チャンス到来!